

広報うちこ

UCHIKO 10

October 2024

vol.324

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌



◎COVER

笑顔でハッスル！高齢者運動会

◎特集

国際交流で広がるまちづくりの輪

ぼくの夢 わたしの夢

在永 涼さん りょう
大瀬小学校6年(本町1)

悔しさをバネに稽古を重ねて 誰にも負けない剣士になりたい

僕の夢は剣道の達人になることです。1年生の時から大瀬剣友会で練習をしています。昨年の県大会では、同学年の相手に何度も小手を打たれて敗戦。その経験が「もっと強くなりたい」と思うきっかけになりました。悔しさを気合いに変えて日々の稽古に臨んでいます。強く素早い「面」を打つ技術を身に付けて、どんな試合でも主導権を握れるようになりたいです。

今年度からチームのキャプテンになりました。団体戦の大将も任されていて、僕の結果次第でチームの勝敗が決まることもあります。「負けたらどうしよう」とプレッシャーもありますが、僕の一本で勝利に貢献できたときは達成感があるし、先生に「よくやった」と言ってもらえて自信にもなりました。これからも努力を続けて、全国で注目されるような強い剣士になるのが目標。僕の試合をたくさんの人見てほしいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.324 広報うちこ 2024年10月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 国際交流で広がるまちづくりの輪
- 10 まちのニュース 内子座文楽第25回公演／小田分校国土交通大臣感謝状 他
- 12 うちこ往来 ワンツーツリーフォレスト／天神小黒板アート 他
- 14 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 18 図書館へ行こう
- 19 ゆうていあ Vol.282
- 20 町からのお知らせ 内子町LINE公式アカウント開設／20歳の記念式 他
- 26 くらしの情報 トコロジスト講座／骨髄バンク／行政書士会無料相談会 他
- 29 社協だより Vol. 4
- 30 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 32 住人十色

COVER 表紙の写真



●内子自治センターと内子東自治センター合同の「高齢者運動会」が9月24日、内子スポーツセンターで開かれました。写真是第1寿楽会の宮岡淑子さん(左)と松川長栄さん。ピンポン玉を投げてコップで受け取る競技「ナイスキャッチ」の一場面です。他にも玉入れなどさまざまな種目が行われ、参加者らは年齢を感じさせないプレーで和気あいあいと楽しみました。

国際交流で広がる まちづくりの輪

内子町国際交流協会は10月、設立30周年の節目を迎えます。

古い歴史的な建物の保存がまだ新しい考え方だった昭和61年、「世界一美しい」と称される町並みを守るドイツ・ローテンブルク市からオスカー・シューバルト市長（当時）を招いて「内子シンポジウム'86」が開かれました。イベントを機に、町民レベルで国際的な交流を深め、まちづくりを担う人材を育てようという機運が広がりました。そして多くの町民や企業から寄せられた寄付をもとに、平成6年10月に財団法人として同協会を設立。以来、さまざまな国際交流事業を展開しています。

今回の特集では、同協会の事業の柱である青少年海外派遣に関連した「国際交流協会30周年記念事業」の取り組みを紹介します。国際交流が派遣生に、そして私たち町民に与えてくれるものを感じてみます。



Interview

気持ちが通じ合えたファミリーとの交流



山岡 沙衣さん

=上宿間=

第21回派遣団として参加しました。ホームステイが心に残っていて、私が楽器が好きだと伝えたら、ホストファミリーで同じ年の子が「一緒にやろう」とレッスンに誘ってくれました。英語はあまり話せなくとも、楽譜と、人への思いやりの気持ちは同じ——優しいファミリーとのすてきな交流ができました。世界の見え方が変わるとと思うので、これから行く人にもドイツや日本の良さをたくさん感じてほしいです。



ホストファミリーとの思い出の1枚

海外派遣で得たものを積極的に発信してほしい



内子町国際交流協会
専務理事 大森希世さん

国際交流協会の活動の中でも、海外派遣事業はメインとなる活動の一つです。毎年多くの中高生から応募がある中で、作文や面接試験を経て、研修への意欲や知識、表現力などを総合的に判断し、毎年10人程度を派遣しています。コロナ禍で中断して以降、今年は5年ぶりに派遣団を結成しました。内子町とローテンブルク市との友好関係を今後も続けていく上でも、30周年の節目に派遣を再開できること、またOB・OGたちと交換し派遣の意義を再確認できただと感じています。

2014年の第20回派遣団の引率としてローテンブルク市を訪問しました。団員にとって現地の市民との交流はやはり特別な経験で、特にホストファミリーとの別れの日には涙、涙——。「両市町の友好を深める」という事業の大きな目的を成し遂げられたと思える瞬間です。今回の交流会でもたくさんの思い出ができました。OB・OGの皆さんには、派遣で感じたこと、その経験から気付いたこと、とても意味のあること

いミングでいいと思います。心の中には、内子町の良さを積極的に発信してほしいです。壮大なことでなくともいい、それそれが感じたときに提供できればと思います。

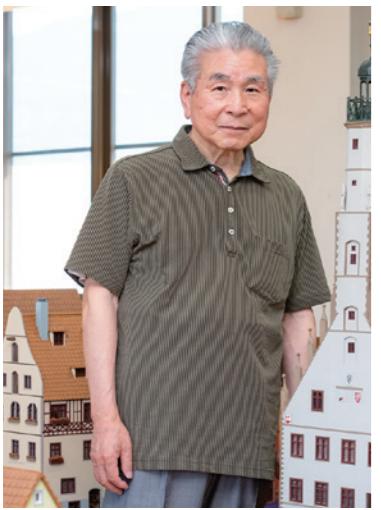
30周年記念事業① 海外派遣団交流会

派遣から広がる交流の輪

海外派遣事業の歴代参加者などを招いて「内子町青少年海外派遣団交流会」が8月17日、共生館で開かれました。派遣生OB・OGや各回の派遣団団長、引率者など約60人が参加。協会設立30周年の節目を祝うとともに、懐かしい顔ぶれとの再会を喜びました。



同協会の小野植正久理事長が「私も団長として6年前にローテンブルク市を訪れ、日本との違いを実感した。美しく整備された町の景色、環境への配慮、教育や医療など学ぶところは多い。皆さんもそれぞれの気付きや思いを語り合う機会にしてほしい」とあいさつ。続いて内子町の国際交流員(CIR)として同市との交流に長年尽力したドレーン・アルントさんの発声で、ドイツ語で乾杯を意味する「プロースト」の掛け声で皆さんとグラスを掲げました。会場ではドイツ料理が振舞われた他、現地の様子を写真や映像で紹介。参加者同士で当時のホストファミリーとの温かなふれあいを振り返ったり、海外派遣がきっかけで英語教育に携わることになった近況などを報告したりして、それぞれの思い出と学びを共有しました。



模型制作者
ただお
相原忠夫さん = 松山市 =

ローテンブルク市を初めて訪れたとき、中世の面影を残す町並みの美しさに魅せられました。専門知識は何もない素人でしたが、すぐに趣味として模型制作を始めました。これまで何度も同市を訪れて、高台から写真を撮ったり、歩幅で建物の寸法を取り、配置をメモしたりして資料を集め、設計図を作つていきました。まずは350分の1のサイズで配置などを確認してから、主にバルサ材などを使つて建物を制作します。初めて挑戦したのは旧市長の館。最初は上手にできなくて、今ある模型は2代目です。

作るのが大変だった市庁舎と並んで、特に思い入れの強い作品ですね。細かいところとなるべく正確に再現したいので、資料が増えたら手直しをします。こつこつ作業をするのが好きで、何よりこのまちが好きだから続いているんでしょう。特に、模型を見た子どもたちが楽しんでくれるのは何よりの喜びです。物語の中のような商店が並ぶ通り、まちづくりを支える技術者の手仕事など、それぞれの感じ方で魅力を見つけてみてください。内子の皆さんにこのまちを知つてもらい、好きになつてもうえたらうれしいです。



制作に苦労した市庁舎も思い入れのある一棟

唯一、ローテンブルク市と姉妹都市盟約を結んでいます。現地を訪れると市民が内子のことを紹介してくれるなど、住民レベルでのつながりがあることが分かります。これも地道な交流活動の成果であり、皆さんをうらやましく思います。今後の内子町の国際交流活動の発展を、私も見守りたいと思います。



Interview

人を惹きつける力を感じるまち

ローテンブルク市を訪れたことがある夫と展示を見ました。建物や店について熱く解説してくれて「よく覚えているなあ」と感心。それだけ魅力的な場所なんだと伝わってきます。私は傍らで展示されていた看板の写真にも心惹かれました。町並みに溶け込んでいて一つ一つが繊細。日本とは全然違うものでした。海外はハードルが高いと感じていた私ですが、いつか現地を訪れ、雰囲気を味わってみたくなりました。



店ごとに違うおしゃれな看板がいっぱい

ローテンブルクの多くの魅力を内子の皆さんに知つてほしい



30周年記念事業② ローテンブルク市ミニチュア展

小さなおとぎ話の世界

中世の町並みの佇まいを今も残すローテンブルク市。その美しさに魅了され、旧市街地のミニチュア模型を制作している相原忠夫さんの作品展が8月11～18日の間、六日市自治会館で開かれました。人々を惹きつける同市の魅力について相原さんに聞きました。

時計塔が存在感を放つ市庁舎、赤い屋根の商店が並ぶ通りなど——。松山市在住の相原忠夫さんは美しい市街地を再現しようと、35分の1サイズのミニチュア模型を作り続けています。これまで計194軒を制作。1軒あたり2、3カ月かけて、屋根瓦や店の商品、軒先に並ぶ花瓶なども細やかに再現しています。

42歳の時にローテンブルク市を初訪問した相原さん。「中世の町並みの美しさに感動。帰つてすぐ模型を作ると決めた」と話します。35年かけて完成した「小さなローテンブルク」に、訪れた人からは思わず「わあ」と声が上がります。会場ではドイツのくるみ割り人形などの民芸品や、市内で撮りためた写真なども展示。参加者は好きな建物や眺めを探したり、写真と模型を見比べたりして、絵本の中のような世界を堪能しました。

展示会には8日間で約500人が来場。「屋根の形や壁の模様が日本とは違つて不思議。文化の違いを感じた」という子どもや、「子どもをぜひ現地に連れて行つてあげたい」という親子連れなど、多くの声が寄せられました。



内子町国際交流協会が目指すもの――

「住んでいてよかった」と思える まちづくりのための人づくり

国際交流協会の設立にあたり設立準備プロジェクトメンバーとして奔走し、現在は同協会副理事長を務める横田光敏さん。30年の歩みを振り返り、国際交流の魅力と、協会の存在意義について語ってくれました。

皆さんそのための国際交流協会で
まちも心も豊かにする出会いを

『30年振り返って』

この30年振り返ると、「子どもたちのために」と寄付をいたいた町内外の皆さん、企業の皆さん、運営に携わり知恵を貸していただいた先輩など、多くの人に支えられてきたことを改めて実感します。発足当初、まだ子どもが小さかった私は「この子が大きくなるまで続いているだろうか」と不安もありました。しかし今では第1回の派遣生が引率者として子どもたちをバックアップするまでになりました。皆さんのご協力への感謝と感慨深い思いでいっぱいです。

『外の視点がまちを豊かに』

町外からUターンした私はあるとき、咲き誇る桜が水面に映る何気ない風景に、思わず心を奪われました。妻に「何を都会ぶつて」と言われてしましましたが、10年ほど町外にいた私にとっては、当たり前ではあります。外を知れば外の、他人を知れば他人の視点で物事を見つめられます。比較対象が増えることは自分自身で幸せを見つけることにもつながるし、「幸せ」と感じる価値観を、誰からもらうことことができます。よその視点は自分にも、地域にとつ

『まちづくりは人づくり』

国際交流協会はまち全体のもので、住んでいる皆さん一人一人のためにあります。協会の理念は「まちづくりは人づくり」。住んでいてよかったと思える内子町を目指し、まちづくりを担う人づくりとして、さまざまなお子さん。外を知れば外の、他人を知れば他人の視点で物事を見つめられます。比較対象が増えることは自分自身で幸せを見つけることにもつながるし、「幸せ」と感じる価値観を、誰からもらうことになります。よその視点は自分にも、地域にとつてほしいと思います。そして将来、自らの考えで行動していく中で、それぞれの立ち位置で、ふるさと内子に思いを向けてくれたらうれしいですね。

30年前、内子の将来のためにと多くの人が知恵を出し合い、資金を寄せて設立された内子町国際交流協会。県内で3番目という早さで立ち上がった組織には、まちの皆さんのが大きな期待が寄せられています。横田さんは「協会設立の趣旨を伝えて回ることが分かります。横田さんは「協会設立の趣旨を伝えて回り、多くの協力を得ることができたのは、学びや頑張りを後押ししようという土壤が内子町にあつたから」と当時を振り返ります。

10代の多感な時期に得られた海外での学びは、派遣団の皆さん的心にたくさんの刺激と温かな思い出を残してくれたことが、OB・OGの皆さんからも伝わってきます。彼らが派遣先で深めた友好関係が輪となって、私たちとローテンブルク市との距離をまた一步縮めてくれているのではないでしょうか。今後も内子町国際交流協会では30周年を記念した催しが予定されています。ぜひ皆さんも国際交流の輪に加わってみませんか。



内子町国際交流協会
副理事長 横田光敏さん

の世代がまた面白い価値観を作ってくれるもの楽しみです。国際交流の魅力は、自分以外の「外」の視点を得られること。町内でもさまざまな交流の機会をつくることで、内子にいながら外とつながり、内子というエリアのボーダーを取り払ってくれます。小さな取り組みの継続と、そこで得るもの積み重ねが、ワクワクするまちづくりにつながると信じています。



座席の仕切り板の取り外し、座布

内子座の保存修理工事に向けた清掃作業が9月7日に行われ、住民や大学生ら43人が参加しました。内子座は工事を前に2日から休館。まず愛媛大学社会共創学部准教授の井口梓さんが「休館中は施設の歴史に触れ、価値を再発見するチャンス。

館内に眠るモノと歴史を再発見 「内子座かたづけタイ」始動

みんなで文化財を守る、という意思を行動で示そう」と活動の意義を説明。参加者は館内に眠る大量の火鉢や幟などの搬出に汗を流し、「多くの人が手入れをしてきた歴史を感じる」「地域の大切な財産をきれいにできてうれしい」と話しました。



上_環境保全をテーマに、流ちょうな英語でスピーチした脇坂さん 下_大会に出場した皆さん

長年の道路美化活動への貢献をたたえて、内子高校小田分校に国土交通省から感謝状が贈られ、伝達式が8月27日、大洲土木事務所で行われました。

同校は平成12年から生徒会・家庭クラブを中心にお交通安全の啓発と道路清掃を実施。校外学習の「内子座かたづけタイ」始動

時のごみ拾い、国道沿いで花の植栽なども続けています。家庭クラブ会長の福岡天翔さんは「学校に根付く活動。小さなことの継続が大事」と話す。生徒会長の源田大空さんは「続けてきた先輩たちのおかげ。いい伝統を残したい」とほほ笑みました。

道路美化に努めた24年の歩み 小田分校に国土交通大臣感謝状

生徒を代表して活動内容について語る
福岡さん(左)と源田さん

「第22回内子町中学校英語弁論大会」(内子町教育委員会、内子町国際交流協会主催)が9月27日、共生館で開かれました。町内4校から9人が出場し、ふるさとへの思いや将来の夢などをテーマに熱弁しました。審査員長の愛媛大学准教授・三浦優生さんは「完成度が高く驚き。事実と意見、体験を述べる構成もよく、心に響いた」と講評しました。

磨いた発音、構成、表現力 中学生が英語で思いを語る弁論大会

上位入賞者と弁論タイトル	
1位	脇坂 瑠夏さん (五十崎中3年) 「Toward a Sustainable Future」
2位	山本 遥斗さん (内子中3年) 「What I want most is a mountain bike」
3位	西岡 芳太朗さん (五十崎中3年) 「Changing the Future is Up to Us」

※1位の脇坂さんには青少年海外派遣事業の派遣団員になる権利が与えられます。



1_式典の合間に血行促進のミニ体操 2_講演した門屋さん 3_VR(仮想現実)映像で災害現場を体験

「健康まつり2024」が9月7日、共生館で開かれました。まず「高池健康づくり優良者表彰式」が行われ、自治会の推薦を受けた10人に表彰状が贈られました。受賞者を代表して成田忠史さん(84)が「皆さんに支えられて今がある。受賞を励みに、地域に恩返しをしたい」と謝辞を述べました。続く講演では日本赤十

社愛媛県支部の門屋純一さんが「災害への備え」と題して登壇。「被害を少しだけでも小さく。地域を知り、日頃のお付き合いを大切さを呼びかけました。他にもポリ袋を使つた災害から命と健康を守るための備えを学びました。

健康と生活をつなぐための備えを防災をテーマに「健康まつり」を開催

字社愛媛県支部の門屋純一さんが「災害への備え」と題して登壇。「被害を少しだけでも小さく。地域を知り、日頃のお付き合いを大切さを呼びかけました。



四半世紀続く「内子座文楽」人形浄瑠璃の世界を味わう 2日間

「内子座文楽第25回公演」が8月24・25の両日、内子座で開かれました。保存修理を控える同館の今年度最終公演に、延べ1350人が来場しました。初日の鏡開きに続く

舞台で、家屋の新築を祝う「寿柱立万歳」、愛する人を思う娘とその父の心情を描いた「攝州合邦辻合邦住家の段」の演目を披露。西予市出身の人形遣いで人間国宝の吉田和生さん、太夫の豊竹若太夫さん、三味線弾きの鶴澤清介さんらの熱演で会場を沸かせました。

また公演に併せて、企画「夜まち歩き」を24日、本町通り商店街などで行いました。内子座演の他に、福を招くとされる「三番叟まわし」を阿波木偶箱まわし保存会が披露。人形浄瑠璃関連展示などもあり、夜の町並みが昔懐かしい情緒と賑わいにあふれました。

1_人形を巧みに操る吉田和生さん(右)と吉田玉男さん 2_豊竹若太夫さん(左)の語りと鶴澤清介さんの三味線が客席の心をつかむ 3_寿柱立万歳の一場面 4_商店街を巡った「でこまわし」 5_上芳我家住宅の土蔵でミニ公演を実施 6_「よいしょ」の掛け声が響いた鏡開き



12色のチョークが教室を彩る 新学期の子どもたちにサプライズアート

2学期が始まった9月2日、登校してきた天神小学校の児童を「黒板アート」が出迎えました。制作したのは近代日本美術協会理事の長野雅彦さんと、四国中央市出身の日本画家・伊東正次さん。2人は夏休み明けの児童に明るい気持ちで過ごしてもらおうと、各学年の教室に夏の風景やトリックアートなどを描きました。色鮮やかな黒板に子どもたちは「すごくりアル」「どうやって描いたのかな」と思わず笑顔に。宮田悠加さん（2年生）は「海の絵を見て爽やかな気持ちになった」と見入っていました。作者の意向で絵はその日に消され、児童らは名残を惜しみながら新学期に気持ちを切り替えました。

企画した長野さんは「子どもたちが笑顔になってくれたらうれしい。絵は消えても感動を心にとどめ、感性豊かに育って」と語りました。伊東さんは「黒板アートはもう側も、贈る側もうれしいプレゼント。地域の皆さんもぜひ描いてみて」とほほ笑みました。

1_制作した長野さん（左）と伊東さん 2_夏らしいヒマワリと入道雲が描かれた3年教室 3_いつもの黒板が、この日は大きなキャンバスに 4・5_絵は消えても思い出はそのままに 6_大きなクジラの絵の前で



国内シェア1位・県産マダイ、食べた~い メニュー開発に向けた県の食育教室

内子小学校5年生を対象に「魚食ワークショップ」が9月11日、同校で開かれました。料理研究家の中村和憲さんが「食材はうま味を掛け合わせると、数倍おいしくなる」と話し、マダイの三枚おろしを実演。切り身を昆布だしのしゃぶしゃぶで味わった児童は「新鮮でおいしい」と笑顔でした。今後はマダイを使うメニューを児童らが考案。1月に内子学校給食センター管内で提供します。

中村さん（中央）が抱える約2kgのマダイに興味津々

地域の素材や伝統の技を生かした こだわりの一品に出会える手仕事市

「IKAZAKIクラフトフェア」が8月24・25の両日、五十崎帆博物館で開かれました。木製食器やアクセサリー販売、ギルディング和紙制作の体験など、計20組がこだわりのものづくりを紹介。主催した五十崎商工連盟匠会の成田幸子さんは「作り手の発表の場であり、皆さんと交流し刺激をもらえる機会。手仕事の素晴らしさを伝え、みんなで残していきたい」と思いを語りました。



綿を専用の道具でほぐし、糸を紡ぐワークショップ

共生館の開館30周年記念事業シリーズ 演技のプロに学ぶ「からだから考えるからだ」

ダンスなどの身体表現を学ぶワークショップが8月24日から9日間、共生館で開かれました。小学生向け、高齢者向けなど4講座に76人が参加。俳優の渡辺芳博さん、振付師の下司尚実さんから、リズミカルに体をたたく遊びやチャンバラの表現、表情の作り方などを教わりました。劇団オーガンス団員の久保博樹さんは「こんな体の動かし方もあるんだ、と新鮮だった」と話しました。



最終日の成果発表では「夏の思い出」をダンスで表現

林業を見て、触れて、楽しんで 体験型イベント「ワンフォレ」開催

林業や森について楽しく学べるイベント「ワンツーリーフォレスト」（同実行委員会主催、武田惇獎委員長）が8月24・25の両日、ソルファ・オダスキーゲレンデで開かれました。7回目となる今回は過去最多の延べ1,200人以上が来場しました。参加者はグラップルでの丸太積み、高所作業車体験、林業機械シミュレーターなどでプロが行う作業に挑戦。他にも端材を使った木工ワークショップや、木のトンネルのフォトスポット、林業機械の展示・実演など森にまつわる多彩な催しがあり、子どもも大人も楽しみながら林業への関心を深めました。

第1回から参加しているという一宮昌海さん（小学5年）=松山市=は「ミニシャベルのボールすくいが毎回楽しみ。格好いい機械を真近で見たり、乗ったりできる特別な時間。来年も遊びたい」と笑顔でした。武田さんは「林業の面白さ、木を切る以外にも多様な仕事があることを子どもたちに伝えたい。楽しい経験が将来、林業を志すきっかけになり、いつか一緒に仕事ができたらうれしい」と思いを語りました。



1_ラジコンを操縦して丸太を持ち上げよう 2_水に浮かぶ景品をミニシャベルでくく 3_木工品づくりができるコーナーも 4_大きな機械を操縦する丸太積みも人気



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

10月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



あふれる愛嬌、とまらぬ食欲!
世界一楽しい人生にすっぞ! (悠成くん)
ツンデレだけど甘えん坊♥ 僕たちなら何でもできる! (煌成くん)

10.20
中本 悠成くん
煌成くん 福岡



10.2
門田 優月ちゃん
妙見町
お兄ちゃんと遊ぶの大好き♡ これからもいっぱい遊んでね!

「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生日の前々月上旬にお送りしています。
ぜひ、応募してください。



10.24
宮岡 希帆ちゃん
富中
食べる大好き。お兄ちゃんと結託して、いたずらしています!



10.21
菊池 美月ちゃん
上町
姉ちゃん大好き♡ 早く一緒に歩きたいな♪

私もとうとう体調を気遣う
お年頃となりました。毎日欠
かせない血圧の薬、さつそう

私は私の楽しみの一つです。春
にはタケノコを掘つてあくを
抜き、秋には収穫した栗をむ
き栗にして、兄弟や叔母に送
ります。「送ったよ」「届いたよ」
のやり取りがうれしくて、

毎年続けています。10年ほど

前からは、家の裏山の荒れた

竹やぶが気になって、自分流

で竹林整備を始めました。慣

れな最初の頃は、のこぎり

で太い竹を切り終えた瞬間、

竹やぶが気になつて、自分流

</div

Q 広報クイズ

「広報うちこ」10月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「つ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①内子座文楽第25回公演にちなんだ新企画。「〇〇〇●〇〇〇」が本町通り商店街周辺で実施されました
- ②薬を安全で効果的に使うために、「〇〇●〇」・用量を守りましょう
- ③夢を語ってくれた在永さん。「〇〇●〇」の達人になって、全国の舞台で活躍するのが目標です
- ④愛媛「●〇〇〇〇〇〇」の日に、小田地域でグループプライドを楽しみませんか
- ⑤「〇〇●〇」を使って新メニューを開発しよう。内子小5年生を対象に、食育ワークショップが開かれました

応募方法：

ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください(1人1通まで)。正解者の中から抽選で10人に図書カード(500円)をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：10月31日(消印有効) 当選者発表：「広報うちこ」12月号

●8月号当選者の皆さん

答え「クールビズ」正解数31

- ・市兼 和美さん (内子8)
- ・山崎 洋子さん (内子14)
- ・中谷 咲良さん (長田)
- ・小田 朝子さん (甲影山)
- ・篠原 美鈴さん (上町)
- ・橋本津多子さん (平野)
- ・富岡 節子さん (池窪)
- ・吉川かえこさん (上川中央)
- ・寄町 佳子さん (大洲市)
- ・松田 繁一さん (大阪府)

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。日本では食べ残しや売れ残りなどの理由で大量の食品が廃棄されており、年に約472万トン(令和4年度推計)の食品ロスが発生しています。

くらしのエコロジー

もったいない 食品ロスを減らそう

● 買い物するとき
▽ 買い物の前に冷蔵庫の中を確認し、必要な分だけ買う

● 調理するとき
▽ 作り過ぎて料理が余ったときは、使い切りレシピを活用する

※ 愛媛県のホームページ「愛媛県の食べべきりアイデアレシピ」で紹介しています。

● 賞味期限切れなどによる廃棄、③食べられる部分まで取り除いてしまうこと、の3つを取扱い入れ、無駄なくおいしく食べ切りましょう。

▽ 買い過ぎない」「使い切る」ことが大切です。次のポイントを確認して、必要な分だけ買う

【問い合わせ】
環境政策室
☎ 0893(44)6159



VOICE まちの声

高齢者の送迎サービスを知りたい

□車いすが必要な高齢者を送迎してもらえるサービスはありますか。(50代女性)

■内子町では在宅の高齢者を病院まで送迎するサービスを無料で行っています。対象は要介護4または5の認定を受けている人で、車いすやストレッチャーでない

【問い合わせ】
保健福祉課
地域包括支援センター
☎ 0893(44)6154

「食」で地域の健康づくりに貢献

竹内 公子さん(87)=中川西=

「内子町食生活改善推進協議会」の一員として、長年にわたり地域の健康づくりに励んできた竹内公子さん。このたび、その活動が評価され、愛媛県食生活改善推進連絡協議会より感謝状が贈られました。

「料理が好きで、家族の健康を支えることにもなると思い活動を始めた。食を通じた交流が楽しくて続いている。気付けば私が最年長」とほほ笑む竹内さん。合併前の小田町では会長を務めたこともあり、食育の啓発や研修会の参加など、積極的に取り組んできました。87歳の今も毎日台所に立つという竹内さんは、「学んだ事は食卓に取り入れ、旬の野菜を使った食事や、塩分控えめを心がけている。おかげで、この年まで元気でいられるのかも」と感謝します。

竹内さんの受賞を一番に喜ぶのは同会の仲間たちで、「いつまでも生き生きと活動する姿はすてき」と慕います。竹内さんは「私1人の力ではなく、みんなでもらった賞。楽しく活動できるよう、いつも気遣ってくれてありがとうございます。体が動く限り、みんなと食の大切さを地域の人たちに伝えられたら」と語りました。



内子町の人☆キラリ



「ガビと呼んでください」と笑顔を見せるガブリエルさん



HELLO!!!
FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手
ガブリエル・バスケス
Gabrielle Vasquez

内子町の皆さん、こんにちは！

8月から内子町の外国語指導助手(ALT)に着任したガブリエル・バスケスです。年齢は29歳で、アメリカ・テキサス州にあるコーパスクリスティ市から来ました。メキシコにとても近いので、まちにも自分自身にも、メキシコの文化や習慣が深く浸透しています。

コーパスクリスティでは、ハロウインの翌日に「死者の日」という祭りが開かれます。祭壇を作り、故人に思いをはせながら歌い踊る、まちで最も大きな催しです。亡くなった愛する人をしのぶ日で、日本のお盆に似ているかもしれません。元々はメキシコの風習ですが、私のまちでも大事にされています。他にも私のふるさとには、「Tex-Mex」という、テキサスとメキシコ

の文化が合わさって生まれたものがたくさんあります。メキシコの民謡とポップスを融合した陽気なテハノ音楽、メキシコの味に香辛料やチーズを加えたスパイシーな料理など。皆さんにも、すてきなTex-Mexを紹介したいです。

母国ではWebデザイナーとして働き、美術館やアジア文化博物館でイベントの手伝いなどもしていました。芸術に触れるのが好きで、作品は作者の心を映し出す窓のような存在だと感じています。趣味は詩を書いたり、本を読んだり、ハイキングをしたりすることです。人との交流や新しい文化を体験するのも大好きなので、まちの皆さんとの出会いや内子での冒険を楽しみにしています。



VOL.282

第26回青少年海外派遣事業 10人の派遣団員がドイツへ出発します

青少年海外派遣事業(当協会、内子町教育委員会共催)を5年ぶりに実施します。今回は10人の中高生が10月12~21日の10日間、姉妹都市ドイツ・ローテンブルク市などを訪問します。派遣先ではホームステイや学校訪問などで現地の人と交流する他、ドイツの環境保全の取り組みやローテンブルク市の街並み保存について学びます。パン屋でのクリスマスクッキー作り、警察署訪問なども行う予定です。

団員は現在、事前研修に取り組んでいます。現地での学びがより有意義なものになるよう、内子町の町並み保存の取り組みやドイツ語などを勉強し、準備を進めています。帰国後には活動報告会を開催予定です。団員の活躍にご期待ください。



▲今回の派遣団の皆さん

寄付のお礼
昭和刷子株式会社様、株式会社森本・森本継雄様からそれぞれ派遣団員1人分の寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

簡単な英単語を使って、外国語と触れ合おう 「英語であそぼう」参加者を募集

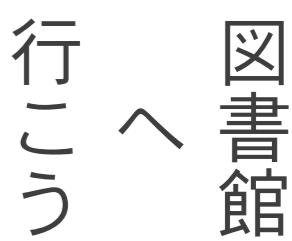


昨年はハロウィンのカードでかるたに挑戦

小学生が対象の教室「英語であそぼう」の参加者を募集します。季節のイベントで使う英語表現などを、ゲームや工作を楽しみながら学びます。

10月のテーマは「ハロウィン」です。外国語指導助手のガブリエルさんが、ハロウィンに関する単語や表現を教えます。仮装での参加も大歓迎です。英語を使ってみんなで一緒に遊びましょう。

- 日時 10月26日(土)午後1時~3時
- 場所 内子自治センター
- 対象 町内の小学生(定員20人)
- 参加費 500円
- 申込方法 10月18日(金)までに事務局へご連絡ください。



内子町図書情報館

〒791-3301
内子町内子3427番地
0893(44)4198
開館時間:午前9時30分~午後6時(月曜日・月末整理日は休館日)

詳しい情報はホームページで紹介しています。併せてご覧ください▶



●内子町読書活動研究集会
読書感想文や活動事例の発表、講演を行います。参加を希望する人は当館までご連絡ください。

▽日時 11月24日(日)午前9時~正午

▽場所 共生館

▽講師 凪良ゆうさん(小説家)、河北壯平さん(講談社「小説時代」編集長)



講師の凪良ゆうさん

ませんか。期間内に規定の冊数を読んだ人に記念品を贈ります。

▽期間 10月1日~11月29日

●企画展 「10月の予定」

- 秋の読書マラソン 読書の秋は本の世界を楽しみ
- 託児サービス 10月23日(水)午前10時~
- 絵本セラピー 10月13日(日)午前10時~
- おはなし会 土曜日・午後2時~
- 「体操でイキイキ」 気軽にできる体操や体遊びに注目した本を紹介します。
- おすすめ図書「コーナー」 町内の園児が制作した、食に関するポスターを展示します。

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



本好きの下剋上 第1部 兵士の娘 1 香月美夜/作、椎名優/絵
本好きな私が生まれ変わったのは、本がほとんどない世界――。手に入らないなら作るしかない。読書が好きな人へ贈るファンタジー小説



かきのみぼうや よこみちけいこ/作・絵
「まずーい」と言われてショックを受けた、かきのみぼうや。しかし皮をむかれて、軒下につるされたら……? 広島県の「西条柿」がモデルの絵本



あるある! 田舎相続 澤井修司/著
売ろうにも売れない農地、先祖代々の思いが詰まった土地……。田舎特有の相続問題の事例を挙げ、円満に解決する方法を紹介する



ルルとララのかみかみグミ あんびるやすこ/作・絵
双子のリスのチップとホップに「空色で透明な、硬いお菓子を作つてほしい」とお願いされて……。人気の「ルルとララ」シリーズ第28巻



バリ山行 松永K三蔵/著
会社での人付き合いを避けていたが、登山部で活動することになった波多。あるベテラン社員が難易度の高い登山「バリ山行」をしていると知り……



めくって学べるてんきのしくみ図鑑 荒木健太郎/著
天気の仕組みが学べる大型仕掛け図鑑。「雲の中はどうなっている?」「天気予報はどうやって作る?」など、天気に関する身近な疑問に答える

便利な機能がたくさん。LINEのいいところ

point

02

簡単に情報へたどり着ける

内子町公式LINEの画面下には、「リッチメニュー」が表示されます。気になるアイコンをタップするだけで、簡単に情報へアクセスできます。

リッチメニューの一部分▶

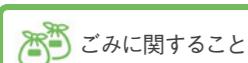


point

04

ごみの分別、収集日をお知らせ

LINE上で調べたいごみの種類を送信するとごみの捨て方を教えてくれます。また、ごみ収集日のお知らせ通知を設定することもでき、設定した地域のごみ収集日が近づくとLINEで知らせてくれます。



ごみ収集日のお知らせ

収集日の通知を受信する

設定方法

- リッチメニューの「ごみに関すること」をタップ
- 「ごみ収集日のお知らせ」をタップ
- 「ごみの収集日の通知を受信する」をタップ
- アンケートに回答

point

欲しい情報を自分で選べる

町から配信する情報は、防災や健康、観光・イベントなど9つに分類しています。この中から関心のある項目を選択することで、欲しい情報を受け取ることができます。

※災害などの緊急性の高い情報や重要な情報は、選択項目に関わらず登録者全員に配信します。

point

子どもの年齢に応じた情報が届く

子育て世帯におすすめな機能が、「子育て情報アンケート」。子どもの生年月日を回答すると、年齢に応じた情報が配信されます。乳幼児健康診査や離乳食教室など、健診日が近づくとLINEで知らせてくれます。



子育て

設定方法

- リッチメニューの「子育て」をタップ
- 「子育て情報の受信設定」をタップ
- 「子育て受信アンケート」に回答

内子町公式

LINEはじめました

あなたとまちをつなぐ新しい情報発信ツール

内子町公式LINEで、まちの情報をもっと身近に

内子町では10月から「内子町公式LINE」の運用を始めました。まちの情報発信のツールの一つとして、防災や子育てなど暮らしに役立つ情報を配信していきます。

これまでではホームページや広報紙を見て、自らまちの情報を探す必要がありました。公式LINEなら、知りたい情報がタイムリーに手元に届くので、とても便利です。皆さんも公式LINEを登録して、まちの情報をもっと身近に感じてみませんか。

【問い合わせ】

総務課 政策調整班 広報・広聴係

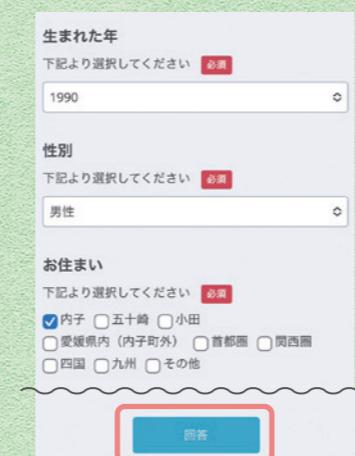
☎ 0893(44)6151



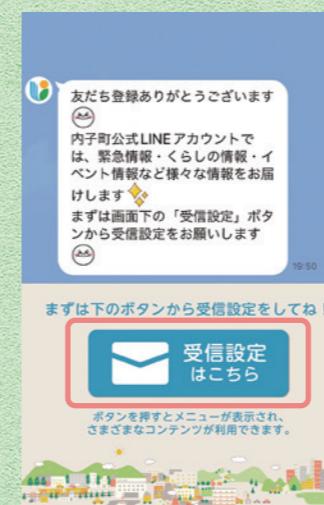
ぜひ登録してね！



⑤登録完了



④必要事項を選択し、回答を
タップする



③受信設定をタップする



②追加をタップする



①QRコードをスマート
で読み取る

登録方法

○スマホの「分からぬ」を気軽に相談しよう

高齢者などを対象に、スマホの使い方を学べる講座を開きます。基本操作などを説明する他、個別の困りごとにも答えます。

●申込方法 開催日の前日正午までにお申し込みください。希望者は開催日の1週間前までにご連絡ください。

※スマホの貸し出しあります。

●定員 各回8人（先着順）

●申込・問い合わせ 総務課危機管理班 デジタル推進係 ☎ 0893(44)6150

○木蝋の歴史とハゼノキの活用法を学ぶ染め物ワークショップを開催します



好みの生地を染めてみよう

木蝋の原料であるハゼノキを使つた「櫟染」のワークショップを開きます。染めてみたい素材の持ち込みもできます。富と幸せをもたらすといわれる黄金色

○「小田川シクロクロスinうちこ」出場者募集

オフロードの自転車競技「小田川シクロクロスinうちこ」を開催します。4人以内のチームで行う耐久レースの参加者を「内子町特別枠」で募集中です。



特設コースを仲間と一緒に走ろう

日時 11月17日（日）
時間 午後2時～
場所 小田川河川敷（あけぼの橋～豊秋河原）
参加費 1人1000円

●募集数 10チーム
●申込方法 10月21日（月）までに電話でご連絡ください。
委員会事務局（建設デザイン課内） ☎ 0893(44)6157

●日時 10月19日（土）午前10時～正午
●場所 木蝋資料館上芳我邸
●参加料 ▽綿バンダナ 2000円
▽持ち込みの場合 1500円
●定員 (50名まで) 先着6人（要予約）
●申込・問い合わせ 八日市・護国町並保存センター ☎ 0893(44)5212

○開催日程・会場

日時	10月4日（金）	11月1日（金）	12月13日（金）
午前10時～11時	小田自治センター	参川福祉館	小田自治センター
午後1時～2時	内子自治センター	うちこ福祉館	内子自治センター
午後3時～4時	五十崎自治センター	五十崎保健センター	五十崎自治センター

ねんきん&A

初めて受給する人は手続きが必要です

基礎年金に上乗せされる「年金生活者支援給付金」について

Q: 「年金生活者支援給付金」とは何ですか

A: 公的年金を受給する所得が一定以下の人に対して、生活を支援するため年金に上乗せして支給される給付金です。

Q: 支給対象はどのような人ですか

A: 老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金を受給している人で、一定の要件を満たす人が対象です。要件は年金の種類によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

Q: どのように請求するのですか

A: 新たに支給要件に該当した人には、日本年金機構から「給付金請求書」が届きます。必要事項を記入してポストに投函してください。支給開始は原則、請求手続きをした翌月分からです。請求書が届いたら速やかに手続きをお願いしま

す。すでに給付金を受給していて、引き続き支給要件を満たしている人は、翌年以降の手続きは不要です。

Q: 給付金はずっと受け取れますか

A: 所得などの支給要件を満たさなくなった場合は「不該当通知書」が届き、支給が止まります。

翌年度以降に支給要件を満たした場合は、再度「給付金請求書」が届きますので、手続きをすることで受け取れるようになります。

【問い合わせ】

○給付金専用ダイヤル ☎ 0570(05)4092
○松山西年金事務所 ☎ 089(925)5105

一内子町選挙管理委員会からのお知らせ

投票立会人を募集します

は郵送して提出してください。用紙は役場総務課か、内子町のホームページで入手できます。

●選任の流れ

応募した人を名簿に登録します。選挙の都度、登録者に希望日などを確認し、事務局で調整の上、投票立会人を選任します。

※会場や日程は希望に添えない場合があります。

●その他

投票立会人は隨時募集します。7年1月26日執行予定の内子町長選挙の立会いを希望する人は、10月31日（木）までに応募してください。

登録は本人から辞退の申し出がない限り継続します。ただし、転出などで資格を満たさなくなつたときは、登録を取り消す場合があります。

ID 112553

【申込・問い合わせ】

〒795-0392 内子町平岡甲168
内子町選挙管理委員会（内子町役場総務課内）
☎ 0893(44)6150

●コース	ショート（上川地区）約20km
●対象者	中学生以上
●集合場所	小田支所
●日時	11月9日（土）午前8時30分～
●コース	①グランピング（上川・野村地区）約35km
●申込・問い合わせ	※希望者にクロスバイク、E-BIKE
●定員	各コース30人
●申込期限	10月28日（月）
●参加費	2000円
●申込・問い合わせ	※②はマウンテンバイクかグラベルバイクを使用すること。普通自転車では参加できません。普



皆さんのご協力をお願いします
「赤い羽根共同募金」は10月から

10月1日から全国で一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まります。内子町では500万円の募金目標額を定めて、町内の保育園や学校、自治センターなどに募金箱を設置するほか、ボーイスカウトの子どもたちが街頭募金を呼びかけます。自治会を通じた戸別募金、地区社協を通じた法人募金もありますので、皆さんのご協力をお願いします。

昨年度、内子町では約505万円の募金が集まり、愛媛県共同募金会へ送りました。愛媛県全体の募金額は約2億1,800万円でした。募金は県内の障がい者福祉施設、児童福祉施設、小規模作業所、社会福祉施設などに配分されたほか、豪雨災害などの災害等準備金や被災支援金として活用されます。

内子町社会福祉協議会には433万円が配分されました。配分金の使途は、共同募金配分委員会で下記のとおり決定したのでお知らせします。

■令和6年度赤い羽根共同募金・配分金の使い道

- ①自治会配分金事業〔204万円〕 ……22自治会に下記のとおり配分
- ②地区社協配分金事業〔163万円〕 ……7つの社協分会に活動助成として配分
- ③児童青少年福祉活動助成事業〔3万円〕 ……ボイスカウトへの活動助成
- ④学校教育活動助成金〔32万円〕 ……小中学校11校への活動助成
- ⑤福祉大会事業など〔31万円〕 ……「広報うちこ」掲載料、社会福祉大会講師料など

自治会名	配分額(円)	主な内容
六日市	100,000	剣スコップ、かまどセット他
八日市	100,000	デジタルカメラ、ブロアー
畠 中	100,000	スピーカーセット
廿日市	100,000	ブロアー
第五	96,421	高圧洗浄機、毛布他
城廻	100,000	ノートパソコン
長田	100,000	洗濯乾燥機
立川	100,000	毛布
河内	67,920	LEDバルーンライト
和田	100,000	折り畳みテーブル

自治会名	配分額(円)	主な内容
神 南	100,000	エアコン
西 沖	100,000	発電機
柿 原	81,301	椅子用ラック
御 祢	120,000	椅子、配食サービス事業費
中 川	100,000	机、座椅子
立 石	64,000	書類保管庫
寺 村	100,000	トイレ改修費
平 野	100,000	ブロアー
吉野川	79,376	炊飯器、石油ストーブ、台車
臼 杵	100,000	電子レンジ、ガスコンロ
上 川	36,000	配食サービス事業費
合 計	2,042,006	(22自治会)

- ▽ 火災や事故を防ぐため
ガス機器を正しく使おう
- ▽ ガス機器は使い方を誤る
爆発や火災の他、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。正しく使用して事故防ぎましょう。
- ▽ ガス機器の使用時の注意
機器を正しく取り付ける。

歩数や消費カロリーなど、一定の運動目標を達成した県内在住の人に、毎月抽選で賞品をプレゼント中です。スマートフォンなどに記録し、応募してください。

● 実施期間 ～12月31日（火）

※ 詳しくはキャンペーンサイトをご覧ください。

▼ 応募方法などの詳細は
→こちらから

【問い合わせ】
(株) イーエーシー (受託会社)
089 (911) 1720



▼応募方法などの詳細は こちらから

△点火後、火が消えていないか確認する。

△使用中は目を離さない。

△機器のそばから離れるときは火を消す。

△窓を開けて換気をする。

【問い合わせ】

内子消防署

☎ 0893(43)0119

日時	10月26日（土）
午前10時～午後2時	
場所	大洲市総合福祉センター
相談内容	相続、遺言、農地転用、車庫証明、空き家対策などの悩みや手続き方法 他
問い合わせ	愛媛県行政書士会
☎	089（946）1443
労働保険料の納付は 10月31日までに忘れずに	労働者を雇う事業主は、労働保険に加入する義務があります。労働保険料の第2期分の納付期限は10月31日（木）です。

【問い合わせ】
愛媛県立図書館
☎ 089(941)1441

愛媛県立図書館は
11月から一時閉館します

耐震工事のため一時閉館します。

期間 11月1日（金）

～8年8月頃（予定）

※仮設図書館を7年2月から、
アイティムえひめにオープンする
予定です。詳しくはホームページ
をご覧ください。

▼県立図書館のホームページ
ページはこちらから



自賠責保険の期限切れ・
かけ忘れに注意

日時	11月16日（土） 午後2時～4時
場所	加戸病院
内容	△骨密度検査、体組成検査、血 圧測定、健康体操指導
愛媛労働局労働保険徴収室	【問い合わせ】 089(935)5202



心身を健やかに保つ生活習慣で「人生100年時代」を楽しもう

《人生100年時代》

100歳まで生きるのが当たり前という「人生100年時代」を迎えつつあります。日本人の平均寿命と健康寿命（自立して健康な日常生活を送れる期間）の差は、男性が約9年、女性が約12年というデータがあり、その期間を不健康な状態で過ごすことになります。

《体と心の健康が大切》

WHO（世界保健機関）は、健康とは「肉体的・精神的・社会的に満たされた状態にあること」と定義しています。ストレスを感じやすい現代社会では、心も病気やけがをすることあります。体と心は互いに影響し合うため、心身ともに免疫力や回復力を高めることができます。100歳になっても人生を満喫できるよう、日々の生活習慣を今日から見直してみましょう。

《心身を健やかに保つための生活習慣》

①眠る時間はしっかりと確保

忙しくても、まずは十分に睡眠をとってください。体内時計をリセットするために毎日決まった時間に起床して日光を浴び、朝ご飯を食べましょう。この習慣は一生の宝物になります。

②日中は活動的に過ごそう

日中は適度に体を動かしましょう。筋肉量と脳に関する研究によると、活動的な人ほど記憶力や学習能力が高く、運動不足な人ほど脳が萎縮して認知能力が下がるといわれています。

③毎日食べたい10の食品群

バランスのいい食事を心がけましょう。毎日取りたい食品の合言葉は「さあ、にぎやかにいただく」です。一日7品以上を目標に、足りていない食品を加えてみましょう。

《健康のために毎日食べたい食品群「さあ、にぎやかにいただく」》



11月の相談日・救急当番医

年金1日相談

日時：14（木）・28（木）の午前10時～午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所
☎ 089（925）5110

行政相談

日時：12（火）の午前9時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／小田自治センター
問い合わせ：総務課 ☎ 0893（44）6150

心配ごと相談

日時：19（火）の午前9時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎ 0893（44）3820

人権相談

日時：12（火）の午前9時30分～正午
場所：内子自治センター
問い合わせ：住民課 ☎ 0893（44）6152

小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
3（日）	おおくぼこどもクリニック（大洲市）	0893（57）9366
4（月）	山下小児科（西予市）	0894（62）6801
10（日）	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894（24）1199
17（日）	ごとう小児科（大洲市）	0893（23）0510
23（土）	みかんこどもクリニック（八幡浜市）	0894（20）8800
24（日）	大洲ななほしクリニック	0893（25）7710

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

大洲喜多休日夜間急患センター ☎ 0893（23）1156

診療科目

診療時間

内科 ○昼間：午前9時～午後6時（日曜・祝日）
○夜間：午後7時～10時（平日、土・日曜日）

※当センターの診療は応急措置のみです。休日や夜間に急に具合が悪くなった、中学生以上の人人が受診できます。

救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893（24）2151
水	日中：加戸病院 夜間：喜多医師会病院	0893（44）5500 0893（25）0535
木	日中：大洲記念病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893（25）2022 0894（22）3211
金・土	大洲中央病院	0893（24）4551
日	日中：大洲中央病院 夜間：市立八幡浜総合病院	0893（24）4551 0894（22）3211

11月の健康カレンダー

母子保健

育児相談

日	受付時間	場所	対象
1（金）	午前9時30分～10時30分	小田保健センター	
6（水）	午前9時30分～11時	五十崎保健センター	乳幼児
12（火）		内子保健センター	

2歳Comeかむ教室（むし歯予防教室）

日	受付時間	場所	対象
13（水）	午前9時～9時30分	内子保健センター	4年8月・9月生まれ

乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
21（木）	午後1時～1時15分	内子保健センター	6年3月・4月生まれ

成人保健

今年度最後の総合健診です。受診は予約した人に限ります。受診を希望する人で申し込みがまだの場合は、内子町保健センターまでご連絡ください。

健康診査、がん検診（肺がん・胃がん・大腸がん・子宮がん、前立腺がん）、肝炎ウイルス検査、腹部超音波検診、乳房超音波検診、骨粗しょう症検診

日	受付時間	場所
27（水）	午前8時～11時30分	五十崎自治センター

◎乳がんマンモグラフィー検診は定員に達したため、12月2日（月）に追加で実施します。

◎託児を利用できます。希望者は事前にご連絡ください。

【問い合わせ】

内子町保健センター
☎ 0893（44）6155

住人十色

第178回



◎研究チームの中で発表を担当する3人。「緊張するけど、楽しさが勝る」と笑う横山さん(中央)

先輩から受け継ぎ、深めた研究で挑む 「日本学校農業クラブ全国大会」

横山 梨華さん(大洲農業高2年)=大洲市=

農業を学ぶ高校生が活動成果を発表する「第75回日本学校農業クラブ四国大会」に、内子中学校出身の横山梨華さんが所属する大洲農業高校生産科学科が出場。プロジェクト発表Ⅱ類部門で最優秀賞に輝き、全国大会への出場を決めました。

横山さんら9人チームの発表テーマは「バショウの活用」です。愛媛県南予を中心にお盆の棚飾りなどに利用されてきた植物で、チームでは農作物の生育に必要なカリウムが多く含まれることに着目。有機肥料に活用して土壤を改善しながら、バショウが吸収した二酸化炭素を土に還元して環境保全を図る「資源循環型農業」を研究しています。横山さんは「先輩たちの代から続くテーマ。できた肥料は農家で使ってもらい成果も上がつてきている。外部機関にも高く評価され、やりがいがある研究」と語ります。プロジェクト発表ではさまざまな場所を訪れる機会に恵まれるそうで、「他ではなかなかできない貴重な経験」と胸を張ります。

指導する教諭の福見優心さんは「意欲的なメンバーで、発表は回を追うごとに上達している。レベルの高い全国の研究から得られる知見も今後に生かし、農家と地域の力になつてほしい」と話しました。

編集幸記

△実は中学生の時、海外派遣に参加した私。当時は分からなかった」とも多いですが、すてきなまちの風景を今も思い出し、10代で経験できた」とをありがとうございます。今年の派遣団の皆さんも、たくさんさんの思い出を持ち帰つてほしいです(史)△朝晩は「涼しい」と感じる」とが増えました。暑さも寒さも耐えられない私はこの季節が一番元気です。わが家のアボカド(ペットボトル栽培)は、あた葉っぱを増やしていく。この生命力を見習いたいです(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎ 0120(44)2130

